

看護しづおか

特集

FRESH NURSE P6・7

フレッシュナースの一年を振り返って

シリーズ 活躍する認定看護師

がん化学療法看護認定看護師 P8

お仕事拝見

看護の基本がそこにある P4・5

先人に聞く 忘れられない看護

自律した看護を目指して P3

平成28年度

VOL.1



会員数 18,662名 (平成28年5月9日 現在)

- 保健師…486名
- 看護師…16,567名
- 助産師…711名
- 准看護師…898名

元気に育て!～端午の節句祝～



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<http://www.shizuoka-na.jp>

[静岡県看護協会]

お気軽にご利用下さい。





「ときどき入院、ほぼ在宅」のジレンマ

会長 望月 律子

少子超高齢社会に備え、医療・介護連携や地域医療構想が着々と進められています。

本年1月に、日本看護協会主催「看護がつなぐ地域包括ケアフォーラムin静岡」の開催により、本会でも「わがまちの医療・介護・福祉の未来」をテーマに、800人の参加者と共に、地域の生活をいかに支えるかを考える機会を得ました。政策は確実に「ときどき入院、ほぼ在宅」の時代に向けて社会保障改革が進められています。病床の機能分化と地域包括ケアの構築を両輪として、療養の場合は確実に地域に移行していきます。今年度診療報酬改定の方向性からも、パラダイムシフトを実感せざるを得ません。

職能委員会や教育研修部を中心に、時代のニーズに応える人材育成と、看護連携、多職種連携を進め、市民参加型の研修等にも取り組んでいますが、医療・介護関係者と地域住民とは、まだまだ温度差があります。

「病院を追い出された」「在宅ではとても看れない」等、戸惑う声も多く聞きます。

単身高齢者、老々看護、認知症、精神疾患、重度障害等、「全ての道は在宅へ」とつなげていくためには、実情が分かれれば分かるほど、課題は次々と出てきます。政策と現状のはざまで生じるジレンマです。

人類未経験の超高齢社会は、新たな看護領域への挑戦ではあります、看護は常に地域に存在し、訪問看護師達を中心に行なうことを実現してきた実績があります。医療と生活双方の視点で支援でき、チーム医療のコーディネーターとしての役割を果たせる看護職が、専門職として引受けしていく課題であると考えます。

切れ目のない医療を、地域のあらゆる場で活躍する看護職のネットワークで実現していく姿が見え始めています。

ジレンマの解決は「納得できる退院」そのための「意思決定支援」「連携体制の強化」であり、看護職であるからこそ担えることです。政策の為だけではなく、その人の幸福の為に動くことができる看護職として地域の力でありたいと願っています。



平成28年度定時総会・セミナー 開催のお知らせ

開催日時 平成28年6月28日(火) 10:00 受付開始 10:30 開会

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ 中ホール大地

内 容

①定時総会 10:30~

- ◆平成29年度日本看護協会通常総会代議員及び
予備代議員選挙
- ◆議案第1号 静岡県看護協会名誉会員の推薦(案)
- ◆議案第2号 定款及び定款細則の改正(案)
- ◆議案第3号 平成27年度決算報告(案)、監査報告
- ◇報告第1号 平成27年度事業報告
- ◇報告第2号 平成28年度事業計画
- ◇報告第3号 平成28年度収支予算
- ◇報告第4号 日本看護協会会議報告
- ◇報告第5号 平成28年度日本看護協会通常総会報告
- ◇報告第6号 平成27年度定時総会議事録

②セミナー 14:30~15:30

なんでやねん力!

講 師 「WMcommons」中山 真氏／仲原 誠氏

日本に5人しかいない(2012年当時)吉本興業のコミュニケーションお笑い研修プログラム認定講師。(吉本興業のライブやイベントの台本作成、テレビ・ラジオなどのメディアで企画構成を手がけるとともに、全国の企業・病院・学校で)笑いのノウハウを生かしたコミュニケーション術を身につけるコミュニケーション講師として活躍中。

*参加できる方は、看護職・他の医療職に限ります。

平成27年度 第5回定時理事会報告

開催日時 平成28年3月15日(火) 14:00~16:00

会 場 静岡県看護協会第1会議室

出席理事 21名、欠席理事1名 定款38条に基づき、定足数11名を満たしていることを確認

出席監事 3名 **欠席監事** なし

1.協議事項(すべての事項について承認される)

- ①平成28年度事業計画(案)
- ②平成28年度当初収支予算(案)
- ③平成27年度補正予算(案)
- ④公益社団法人静岡県看護協会定款及び細則の改正(案)
- ⑤静岡県看護協会職能委員の選任(案)
- ⑥静岡県看護協会委員会委員の選任(案)
- ⑦理事報酬及び退任報償金支給等規定の改正(案)
- ⑧特定個人情報の保護に関する規定等の制定及び関連する就業規定等の改正(案)
- ⑨脳卒中リハビリテーション看護教育課程開講(案)
- ⑩事務局長の採用(案)

2.報告事項

- ①会員入会の申請状況
- ②平成28年度特別委員会の委員について
- ③平成28年度関係機関、関係団体の役員委員の就任について
- ④教育研修部報告
- ⑤東部地区支部事務所移転について
- ⑥その他 平成28年度行事計画

第5回

先人に聞く 忘れられない看護 自律した看護を目指して

Vol.6(3月号)に引き続き高嶋妙子さんのインタビューをお届けします。

キューブラー・ロスとの出会い

「死ぬ瞬間」が最初に翻訳された時に、大森氏から読後感を書くことを命じられ读んだことがきっかけだった。内容は私の脳裏に強烈に残り、続編が翻訳されるたびに必ず読み感動していた。いつか会いたいと秘かに思っていた。

平成4年、神戸で開催された4泊5日のワークショップへ激励訪問のため、彼女が極秘に来日された。その際、ホスピス活動をしているごく限られた者に特別参加の機会が与えられた。参加案内は、ホスピス病棟を持つ聖隸三方原病院と間違えて聖隸浜松病院宛てに届いた。そうとは知らずに迷わず参加した。

ワークショップの最後に参加者全員に「ハグ」をしてくれた。その「ハグ」を受けながら、本物の人間に出会えた喜びに胸が震えていた。その感動は今でも覚えている。私と向き合った何秒間は私とたった二人だけの空間を創りだすその集中力、それは並のものではなかった。本当にすごい人だと思った。

この時、自分の中にこれはどうしてもという強い思いをもっていれば、きっと叶うと思った。

最期死ぬ時は誰しも長く苦しんで死にたくないと思う。また、一番身近な人に「ありがとう」とお礼を言って死にたいと思う。難しいかもしれないけど、いつも一生懸命自分の心に従って生きていけばきっと叶うんじゃないかなと。そんな最期だったらしいと思う。



エルザベス・キューブラー・ロス著 続 死ぬ瞬間 最期に人が求めるものは

愛情がこもった手料理

おいしく食べる、素材を活かして食べることに関心が強い。関心が強い限り痩せないのがデメリット。自分は料理が不得手で何もかも人にやってもらっていた。自分にはとてもできないと思っていたので嫁にもいかなかつた。しかしそれは間違つていた。自分のことがわかつていなかつた。

北里病院時代の開設当初は田舎だったので、年末年始など食堂も閉まり、三交代勤務で買い物にも行けないと食べれる物がなくなってしまう。なので、自分の家を開放して、おでんやおかずなどを作つておいて真夜中でも好きなように来て食べることができるようになっていた。私は、料理を作るのが好きだったと気づいた。

聖隸浜松病院時代もわが家を使って手料理を作る。そこでワークショップと称して普段語り合えないことを存分語り、お互いを知る。料理に手をかけなければかかる程食べる人に愛情が伝わるということを信じ、つまみ菜も1本1本丁寧に洗つて料理を作つた。これには、「看護を嫌いにならないでね」という願いを込めていた。

平成28年度 Vol.2に続く

お仕事拝見

第10回

看護の知識や資格をいろいろな分野で生かしながら、第一線で活躍している方々のお仕事をちょっと拝見してみます。

看護の基本がそこにある ～重症心身障害児・者施設で働く～

今回は、社会福祉法人小羊学園重症心身障害児・者施設『つばさ静岡』で活躍している看護主任鈴木貴子さんにお話を聞きました。

*以下の文章では、重症心身障害児・者は、「重症児・者」と略す。

interview



社会福祉法人小羊学園
重症心身障害児・者施設
『つばさ静岡』

看護主任
鈴木貴子さん

重症児・家族に協力したい

もともと子どもが好きで看護学校卒業後は、9年間聖隸浜松病院の小児科に勤務した。そこでは重症児の入院が多く、おおぞら療育センター(重症児・者施設)を利用していることも多かった。重症児を在宅で看ることの大変さを目の当たりにし、自分にも何かお手伝いできないかなと思い、重症児・者の看護を目指すことにした。

当時、現聖隸おおぞら療育センター同様の施設が静岡市にもできるという話を聞き、聖隸おおぞら療育センターで勉強してから静岡市に開設する施設に行こうと考えた。そこで聖隸浜松病院を退職し、聖隸おおぞら療育センターで働き、静岡市に『つばさ静岡』が開設すると同時に勤務し、今年で11年目になる。

ナイチンゲール「看護覚え書」

最初に重症児・者施設で働いた時、ナイチンゲールの「看護覚え書」の最初にある、「看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさ、などを適切に整え、食事内容を適切に選択し適切に与えること—こういったことのすべてを、患者の生命力の消耗を最小にするように整えること、を意味すべきである」ということを強く感じた。重症児・者施設の中にこそ看護の原点・基本があり、それがとても重要なことであると気づかされた。働き始めた頃、ナイチンゲールの本を読み返したことを思い出す。一般病院勤務の時には、そこまで感じる余裕もなく日々追われていたような気がする。

生活の中の看護

看護師は、一般状態(バイタルサインや身体計測)の観察はもとより、健康管理、感染予防、姿勢別のポジショニング、呼吸ケア(吸引、気管切開の管理、酸素吸入など)、口腔ケア、栄養ケア、経管栄養(栄養チューブ、胃ろう等の管理、注入など)、排泄ケア(オムツ交換、導尿など)、入浴介助、個々に合った余暇活動、季節感のある行事などを行う。個別性も高く安全・安楽な姿勢が異なるため個々に必要な保持具を使用したり、理学療法士に専用マットを作成してもらい、姿勢管理をしている。日中の生活は、昼夜の区別を感じてもらうためにフロアーで過ごし、夜はベッド居室に戻る生活をしている。そのため移動介助にも多くの体力を使う。

重症児・者は、自分の気持ちを表現することや周囲からの働きかけを受けとめることが難しい。訴えられない分こちらが気づいてあげないといけないことが多い。体位を変えるにしてもモニターのコードが身体の下に入っていないか、自分だったらこの姿勢で楽かを考え、細かいところに気づき配慮することができる事が、とても大切だと思っている。

呼び方への配慮

施設に入所した段階からその子(人)の人生に関わっていくので、その責任は大きいと感じている。その子(人)らしく生活していくための医療や看護、介護を提供していく必要がある。一番小さな子は小学校1年生で一番年上は60代の入所者がいる。年齢差での関わりの難しさもある。年配者と子どもでは生きてきた歴史も違うので、余暇活動も無理に押し付け

ることなく興味のあるものをやってもらったり、呼称にも配慮している。基本的には年齢に合った呼び方をするが、保護者が「〇〇ちゃん」と呼んでほしいと言った人には希望に沿った呼び方にしている。

専門性を認め合い支援

従事している主な職種は、医師、看護師、生活支援員(保育士、社会福祉士、介護士)、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師。

仕事の役割分担は、看護師の資格がないとできない所は看護師がやり、生活支援員がオムツを換えたり食事介助をするなど、看護師と生活支援員が専門性を認め合い支援している。

長い間、何も訴えることができない人たちの中にいたら、支援者側のペースで仕事ができてしまうところが怖い。そうならないために、毎月会議をし、あるべき論ではなく個別性をふまえた支援の方向性を検討・共有している。

ディズニーランドへの3年の道のり

『つばさ静岡』開設時に小学校低学年だったA君が今では高校生。(呼吸器をついているが会話ができる子で意思の表出もあり、手も動き、いろいろ分かる子)今から6年位前に、受け持ち看護師と話をして今まで病院で過ごした時間が長いため、ディズニーランドに連れていってあげたいという話になった。しかし、開設からそれまで前例のないことはすぐには実行できなかった。A君がディズニーランドに行く意味や目的は何なのか、家族との調整は?他の入所者との平等性は?行くための車、人員、行程表などいくつかの問題をクリアするのに3年間かかった。

下見には自分たちの時間を使った。施設からディズニーランドまで行くつもりで時間帯を調整して、看護師2人、生活支援員2人の計4人で1台の車に乗って行き、どこで休憩をとるかトイレの位置を写真に撮ったり車椅子が入れるか、段差の有無などを確認した。1つ1つの問題を地道にクリアし、あきらめずに活動したことが実を結んだ。そこには、「本当に連れていってあげたい」という強い気持ちがあったから。

A君は、ディズニーランドに行くことを伝えたが長時間、車での移動はこれまでなかったので、あまりの長さに車中は無口になってしまった。「ディズニーが見えてきたよ」というところから元気が出てきた。1個1個キラキラした目で見ていた。帰ってきてからの入浴介助中に、A君が「本当に楽しかった。また行きたい」と言われ、入浴介助をしている職員

同士で感激して泣いてしまった。苦労が報われた瞬間だった。

医療ケアがある子は、お休みに家族と一緒に遊びに行くことができにくい環境にある。回数は少なくとも、個別性を配慮しながらの楽しい経験や機会を作っていくたい。

笑顔に癒され、楽しく、やりがいがある

現在の担当は、多少なりとも反応があったり、話ができたり表情が豊かな方もいるので、何らかの反応が返ってくる。笑顔が見られると、かえって自分が癒される。

一般病院では治療が中心の看護だった。今は、子どもと一緒に成長し、生活重視でやりがいを感じながら楽しく仕事をしている。しかし、施設も重症度が上がってきているので、高度医療の知識も身につけていかないといけない。看護師として10年も付き合っていると、ほとんど分かっているつもりでいたが、その子なりに発達し成長し変化している部分、把握できていなかつた面があることに気付かされ、学びも多い。

看護師なので、医療の方だけを優先してしまいがちだが、それだけじゃない生活の部分の活動をもっともっと豊かにしていいってあげたい。そう考えるとまだまだやれてないことがたくさんある。まだまだ自分自身も成長しないといけないと考えると“まだまだ”という部分と利用者の未知数への“わくわく”という部分があり、やりがいを感じている。

最後に

重症心身障害児・者について多くの方に知ってほしい。『つばさ静岡』のことも知ってほしい。興味のある方は見学に是非来て下さい。重症心身障害児・者施設での看護の役割は大きく、やりがいもあることを伝えたい。現在、日本重症心身障害福祉協会では、認定重症心身障害看護師研修会を行い、重症児看護の魅力についても発信しています。



つばさ静岡

検索

<http://www.tubasa-szok.net>

特集 FRESH N

静岡富士病院 勝又 愛実

私は、この1年を通して患者様に丁寧に笑顔で接することを心がけてきました。患者様や家族の方に「あなたを見ていると元気がでる」「優しくしてくれてありがとう」と言っていただけことが嬉しく、印象に残っています。技術や知識が足りず悩むことが多いですが、患者様のためにこれからも日々努力したいと思います。



自衛隊富士病院 石井 茉実

私がこの一年間で一番心に残ったことは、気管切開をした患者さんが初めて、スピーチカニューレを装着する場面に立ち会ったことです。嬉しそうに何度も「ありがとうございます」と話す姿がとても印象的でした。少しでも多くの患者さんの笑顔が見られるよう、これからもがんばっていきたいです。



誠和藤枝病院 清水 伴美

時間に追われる仕事の中、患者様の話を聞く時間を作ることに努めました。患者様から「話を聞いてもらいう楽になった」と言われました。患者様は穏やかな笑顔で話をされたことがとても印象的でした。今後も患者様が少しでも笑顔になれるよう援助していきたいと思います。



岡村記念病院 山崎 沙織

私が一年を通じ一番心に残っていることは「あなたが来てくれるといつも声をかけてくれるから安心する」という患者さんからの言葉でした。できないことばかりで落ち込むことも多い日々でしたが、その言葉を聞き、今自分にできることを頑張ろうと思うことができました。これからも患者さんとの時間を大切にしていきたいです。



富士小山病院 宮原 亜樹

新しい環境でのスタートに不安な気持ちも多かったですが、先輩方に支えられたおかげで無事1年終えることができました。患者さんからの感謝の言葉、頼りにされていると感じた時は、とても嬉しくやりがいを感じます。これからも日々勉強を積み重ね、患者さんに寄り添った看護を行えるように頑張っていきたいと思います。



西島病院 朝倉 祥太郎

配属当初は自分の行っている看護が正しいか不安で、アタフタしながら先輩看護師の指導を受けていました。そんな中でも、自分の患者さんに対する姿勢を評価してもらったり、患者さんからの感謝の言葉を頂いたり、嬉しいこともあります。これからも患者さんの事を一番に考え、初心を忘れずに看護を提供していきたいです。



川村病院 鈴木 里奈

看護師として就職し始め1年が経ち、とても学ぶことが多い1年となりました。多くの患者様と関わらせて頂き、ケアや処置にまだ慣れていないこともあります、「ありがとうございます」と言われると、やりがいを感じ、もっとスムーズに行えるようにしようと思います。2年目は知識、技術をスキルアップできるよう頑張りたいと思います。



すずかけセントラル病院 松井 千咲

1年間看護の仕事をして嬉しかったことは、職場の先輩方に、1年で成長したと声をかけてもらえたことです。1年たち業務の流れなどに慣れた反面、急変対応やアセスマントなど自分でのできない所、勉強不足な所に落ち込む日も増えてきました。そんな時、夜勤中や業務後にかけてもらった一言で、次年度も頑張ろうと思いました。



フレッシュナース URSE

平成27年度新人看護職員研修
一多施設合同研修一に参加した
フレッシュナースの一年を振り
返っての思いを紹介します。



伊豆赤十字病院 相馬 紗乃

患者さんの「ありがとう」の言葉、笑顔にいつも励まされています。患者さんに元気を与えるなければならない立場なのですが、こういう場面があるともっと頑張ろうと強く思います。今後も患者さんの笑顔のために、勉強、技術を磨き頑張っていきたいです。



三島共立病院 小池 保奈美

私が一年間看護の仕事をして印象に残っていることは、ある患者様から手紙をいただいたことです。忙しい業務の中、何度も話しかけられ、時々もう時間がないなど思つてしまつたことありましたが、しっかりとその方の話を聞き、退院される時に手紙をいただきとてもうれしく思い、今後も患者様の話をしっかり傾聴しようと感じました。



三島共立病院 渡邊 杏子

私が一年間で一番心に残っていることは、患者様に「あなたの笑顔で元気になるよ」と言っていただいたことです。日々時間に追われ、できないことやわからないことだらけで、自信を無くすことが多かったです。患者様からのその言葉で技術や知識は未熟でも関わり方だけでも看護師として認められた気がして嬉しかったです。



熱川温泉病院 法村 奈々央

「人間じゃなくなった」と立ち上がりセンサーを付けた患者さんに言われた。安全のためにとやっていたことが患者さんに苦痛を与えていたと同時に傷つけていたことに気付いた。その時に患者さんの思いを知り、患者さんの立場に立っていないと思った。患者さんに寄り添うことのできる看護師になりたいと思った。



岡村記念病院 山田 大樹

この一年で嬉しかったことは、患者様に名前を覚えてもらつたことです。集中治療室という短い入院期間の中で、「看護師さん」ではなく、名前で呼んでもらえたことは印象に残っています。看護をする上で信頼関係の構築は大切なことだと思います。これからも患者様に名前を覚えていただけるような看護をしていきたいです。



新富士病院 名嘉山 未来

始めの頃は分からない事がたくさんありましたが、処置やケアを先輩看護師と行っていく中、一人で出来る事が増え、出来た時には「出来たね」と言葉を貰い、嬉しかったのを覚えています。また「丁寧な対応だとスタッフや患者様からも名前が聞かれている」と聞き、これからも丁寧な対応を忘れず、患者様と関わっていきたいです。



新富士病院 鈴木 亜季

私は40歳を過ぎてから看護学校に入學し、今までの職業とは畠違いの看護師になりました。この一年は看護学生時代と違って責任が増え、毎晩の自分の勉強に加え、4人の育児に家事と目まぐるしく過ぎました。毎日とても大変ですが、患者様からの「ありがとう」という言葉が、また頑張ろうという原動力につながっています。



読者 の 広場

~Vol.6の感想・意見~

看護師ウォッチャーの中の「優れた人」というのは、「優しい人」本当にそう思いました。

今回いろいろ研修の報告が多かったですね。こんな研修もするんだと知ることができました。

シリーズ 活躍する認定看護師 がん化学療法看護認定看護師

(編)

静岡県には400人余りの認定看護師がいます。今回はがん化学療法認定看護師のうち5人を紹介します。



浜松医科大学医学部附属病院

天羽 光江

抗がん剤治療は、効果が期待できる反面、負担が大きいものです。それでも前向きに取り組む患者が多いのにも関わらず、私は自身苦手意識を持っていました。でも、「どうすれば患者が楽に、前向きに取り組めるように支えることができるのか」と考え、治療を受ける患者を理解・対応するため、この資格取得をしました。今、私のできることは、投与管理や患者指導です。その中でも

患者の表情や声に耳を傾け、心の変化を読み取り、表出できない想いを察知・対応することです。「がんになったことで生きることを見直せるきっかけになった」と言う方もいます。これからも、がんと共に生きる人の理解者として側で支えになりたいと思っています。



磐田市立総合病院

飯田 みつえ

平成17年10月に当院で外来化学療法室が開設され、治療に携わったことが抗がん剤との出会いです。治療に魅せられ、ずっと化学療法に関わっていきたいと思ったこと、希望を失わず治療を受けている患者さんや副作用で悩んでいる患者さんと接し、専門的知識を得て患者さんの力になりたいと「がん化学療法看護認定看護師」を取得して6年目になります。抗がん剤

の投与管理と副作用マネジメント、治療中の身体的精神的サポートを行っているとともに、がん看護や化学療法看護の質の向上を目指し、院内外での教育や指導にも携わっています。また、医師と共同して、がんの告知、再発や転移などの患者さんやその家族の意思決定支援をおこなっています。



静岡済生会総合病院

朝日 恵美

がん化学療法看護は患者と家族を支え、安全を守ることが使命です。抗がん剤治療全般に関わる悩みや苦痛を和らげることができるように、「根拠」を示すことをモットーにして他職種と連携しています。

取り組みの一つとして「抗がん剤の職業性曝露予防」があります。2014年に厚生労働省から曝露防止対策について通達が

出ました。当院では2009年に曝露予防マニュアルを作成し、啓発活動を継続しています。今年度、薬剤科による24時間体制下での抗がん剤調剤業務と輸液ボトルのプライミングを実施できたことは成果の一つです。患者さんと医療者双方の安全を担保するため、曝露に関する正しい知識を持ちルールを遵守する取り組みを継続中です。



静岡県立総合病院

藤巻 奈緒美

認定看護師を目指したきっかけは、私ががん看護に携わった頃の上司や先輩方の勧めでした。その後、血液内科病棟へ異動が叶い、診断当日から亡くなる日まで、抗がん剤治療を受ける患者さんと家族に向き合う機会を頂きました。治すためでも、生きるためにもある抗がん剤治療を受ける患者さんを支えていきたい、その思いから認定看護師になって6年経ちます。現在

は化学療法センターに勤務し、安全な投与管理、中心静脈ポートの取り扱い、抗がん剤投与のための末梢静脈確保教育などシステム面の構築だけでなく、多くの部署での勉強会や症例検討をする中で看護師の皆さんとがん患者さんの看護について考える機会をたくさん頂いています。



静岡県立静岡がんセンター

岩寄 優子

私ががん化学療法看護認定看護師を目指すきっかけとなったのは、外科病棟勤務時に出会った、躰がん非切除の患者さんでした。抗がん剤治療の相談を受けた時に、寄り添うことしかできず、抗がん治療の知識が不足していると痛感したからです。そこからがん化学療法看護を経験し、現在に至ります。がん化学療法看護認定看護師の活動では、外来患者さんの抗がん剤

の副作用対策や意思決定支援などに携わっています。また、自部署では、副作用マネジメント、血管アセスメントや血管炎や血管外漏などの相談業務に携わっています。安全で安楽な治療が提供でき、副作用が少しでも軽減できるよう、日々勉強の毎日です。

1.平成28年度教育研修

時代の要請にあった看護職の育成を重点に研修を企画しました。
社会のニーズに応えることができる看護職及び会員個々のキャリア開発を支援します。

8月～10月に開催する研修の案内（★は新企画です。）

6月1～10日申込（8月開催）

- 高齢者ケア施設等看護従事者のためのフィジカルアセスメント
- 感染管理
～感染予防リンクナース編～
- ★リーダー研修
～中堅看護師としてのリーダーシップ～
- ★グループワークを取り入れた参加型研修の進め方
- 看護教員（ベテラン期）継続研修
- 看護教員継続研修 ～トピックス～

7月1～10日申込（9月開催）

- 事例で学ぶフィジカルアセスメント
- 医療安全の基礎知識
- ★リーダー研修 ～問題解決技法～
※対象者が変更になりました。
副看護部長・施設の看護責任者の皆様の参加をお待ちしております。



8月1～10日申込（10月開催）

- 認知症患者の看護Ⅱ
～認知症ケアマネジメント編～
- 感染管理 ～マネジメント編～
- ナラティヴ・アプローチ
～看護を語る風土をつくる～
- 看護職員等実習指導講習会（特定分野）
- 日看協インターネット配信研修
「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」
- 効果的なプレゼンテーション技法

2.第5回静岡県看護学会 演題募集

演題申込期間 平成28年9月1日(木)～14日(水)

開催日時 平成29年1月21日(土)

開催場所 グランシップ 10階

※研究発表の第一歩として是非応募してください。

3.認定看護師教育課程 「脳卒中リハビリテーション看護」

入学試験 平成29年秋～冬に実施予定

開催時期 平成30年度に開講を予定

※あなたも「脳リハ看護」認定看護師になりませんか。受講資格や認定看護師の活動等について、お気軽にご相談ください。

4.静岡で開催 第49回日本看護学会学術集会～慢性期看護～

開催日時 平成30年9月27日(木)・28日(金)

演題登録 平成30年2月頃を予定。詳細は日本看護協会ホームページをご覧ください。

平成28年度春の叙勲受章おめでとうございます!

瑞宝双光章

桑原弓枝氏

(元浜松医科大学附属病院
副病院長兼看護部長)

瑞宝单光章

鈴木貞子氏

(元中東遠総合医療センター
副院長兼看護部長)
静岡県看護協会推薦

笑顔で看護がつながるって素敵!

ステーションいわた所長 長瀬 由美

磐田市・森町では、看護の連携強化の取り組みとして、地域の病院・訪問看護ステーションの管理者が集まり、管理上の課題の共有や課題解決に向けた話し合いの場として発足した『磐田市・森町の病院・訪問看護ステーションの看護代表者がつながる会』が2年目を迎えるました。

平成27年度は『つながる会』を4回開催しましたが、第1回は、お互いを知り課題を共有しようと「各施設の特徴・強み・弱みの発表」をしました。精神科病院では寝たきり患者ゼロに驚き、地域包括ケア病棟ってこんな状態のかたが入れるのかと納得したり、訪問看護って地域でイベントや健康相談をしていて活動が幅広いなあと感心したりと大盛り上がりでした。

第2回は「リソースの紹介・教育研修の現状と課題の発表」でしたが、小規模病院や訪問看護ステーションでは、マンパワー不足で研修に出すのが大変という共通の悩みが確認できました。



第3回は「教育について」最近どんなことが起こっているのか、教育で求めるものは何かをグループワークし発表しました。それぞれの課題を共有することはできましたが、「互いの施設のないものばかりみるのではなく、あるものを活用し楽しく学ぶ方法を考えよう」と意見がまとまりました。

第4回は「そもそも教育って何だろう?」というテーマで磐田市立総合病院寺田雅彦副院長の講義を受け、次年度に向けた教育についての具体的な取り組みをグループワークし発表しました。

さらに親睦を深める納涼会や忘年会も大勢参加し、現在では孤独な管理者の憩いの場としても楽しみな『つながる会』になっています。

ワクワク度がさらにアップした28年度は、“顔の見える関係”から“信頼”“連携”へと具体化に向けて活動することを目標に活動開始しました。第1回は医療介護の連携の動向や平成28年度診療報酬改定を理解し、病院・訪問看護ステーションの取り組みを発表しました。



教育についてのグループワーク

地域包括ケアシステム構築に向けて、やらなくてはいけないことは山積みですが、地域の看護が元気に動いているためとっても楽しくなってきました。

現在、『つながる会』の相乗効果で、行政の保健師、病院・訪問看護の看護師がタッグを組んで、「高齢者の誤嚥性肺炎は重症化を防ぎ入院せずに地域で対処していきましょう」と住民や介護施設などにPRと教育を開始し、張り切っています。そして、看護の輪を広げもっと診療所や施設の看護師とつながっていこうと検討しています。今後も磐田市・森町の看護の動きに注目してくださいね。

地域包括ケアにつながる

事業部 山田 愛子

私は、今年度から地域包括ケア推進担当として県看護協会事業部に所属し、静岡県からの受託研修事業や看護のこころ普及・啓発事業等、地区支部活動等をとおして、地域包括ケアの状況を把握し、今後の看護連携のあり方について、皆様と共に考えしていくことになりました。



私が、保健師として福祉に配属された頃、区役所高齢者福祉係では、老老介護・認知症高齢者の増加、高齢者虐待等について、地域包括支援センターや警察署、民生委員から相談を受け個別に対応する日々でした。地域連携の発端は、静岡県ふじのくに地域支え合い体制づくり事業に地元の活動が認められたことからでした。身近な活動を知り地域で支える高齢者支援活動の機運を高めようと、区役所が「地域包括ケアシステム勉強会」を呼びかけ、自治会長、民生委員、地域包括支援センター、社協、医師会、警察署、事業者が集合しました。

5年が経過し、「つながる」ステージは、看護協会に移り皆様との新たなかかわりが始まります。どうぞ皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

ナースセンターだより

平成28年度事業

1. ナースバンク事業

●看護師の離職時届出制度の運営・推進

退職時の届出登録及び就業支援 ※病院・施設勤務の看護職は施設で一括届出をしています。

●求人・求職登録・就業斡旋

就業相談：あなたに合った職場と一緒に探します。

移動相談：市町の保健センターとハローワークに就業相談員がお向いて就業の相談に応じています。

ハローワークは三島・島田・磐田が増えて、富士・沼津・清水・静岡・焼津・掛川・浜松・浜北の11カ所で実施
※開催場所・日の詳細はホームページをご覧ください。

3. 離職防止対策事業

●就業相談指導員による悩み相談

●中間管理者・中堅看護職・セカンドキャリアセミナー

●再就職者フォローアップ研修

●離職防止コーディネーターによる多施設合同新人研修・指導者研修

●看護技術演習（採血・静脈注射）

2. 潜在看護師再就業支援事業

●再就業準備講習会県内10会場

●病院・訪問看護ステーション派遣型再就業研修

●看護職員介護施設等再就業研修

●合同就職相談会

●関係団体との協議会を設置【新規事業】

4. 「看護のこころ」普及啓発事業

●看護の日・週間記念行事

●ふれあい看護体験

●看護学校等進路説明・相談会

●看護の出前事業

●高校生1日ナース

●看護のこころさしセミナー【新規事業】

●県外看護学生などを対象とした県内就業促進【新規事業】

●看護学生などを対象としたナースセンターの役割・看護職の就業支援体制の紹介冊子の作成

再就業してやめないで頑張れるわけ

（社福）聖隸福祉事業団 訪問看護ステーション住吉
45才 離職期間11カ月

転居後病気を患い、就業に対する不安があった私はナースセンターの支援で再就業準備講習会と派遣型研修を受けた後、事情に配慮してくださる訪問看護施設へ就業しました。様々な研修と自信がつくまで同行訪問を希望でき、判断に迷う時にはスタッフの指導やプリセプターが相談に乗ってくれるなど心強く、午前中週3日の勤務の1年が過ぎました。突然の欠勤にも「お互い様だから」と理解してくださるお陰で毎日が笑顔で充実して過ごせます。さらに幅広い知識と技術の習得に励み、ニーズに合った看護ケアの提供をしていきたいです。

新人看護職員の皆様へ

第105回看護師国家試験合格おめでとうございます。生活の変化、初めての体験も多く緊張気味の毎日ではないでしょうか。心身ともに疲れると「自分は本当に看護師になったかったのか?」「楽しくない」などのネガティブな感情や考えが芽生えています。でも大丈夫! 職場の先輩たちも同じように新人期の山を越えてきています。悩みは一人で抱えず同僚や、先輩に相談しましょう。また、新入会員研修や新人看護職員研修に参加の機会に、ナースセンターに立ち寄ってみませんか。職場の人間関係・技術のことなんでもご相談ください。(離職防止コーディネーター)

平成27年度報告

報告1 27年度ナースバンク事業 平成27年4月1日～28年3月31日

区分	27年度(延べ人数)
求職者数	2,715人
求人施設数(求人件数)	1,204人(8,765人)
就業者数	725人

報告2 届出制度 平成27年10月～平成28年3月

総届出人数：416人		就業中・就業予定(看護師等以外)	24人
就業していない	157人	学生	2人
就業していないが休職中	99人	その他	12人
就業中・就業予定(看護師など)	81人	就業区分設定なし	41人

報告3 再就業準備講習会を県内10会場にて開催し受講した85人の内68人(80%)が就職しました。
平均年齢42.4才／平均離職年数7.8年

報告4 病院・訪問看護ステーション派遣型研修に17病院と3訪問看護ステーションにて23人が研修し内19人(82.6%)が就職しました。
平均年齢39.3才／平均離職年数7.5年

(公社) 静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

本 所／TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所／TEL・FAX 055-920-2088 下田相談所(毎週木曜日9:00～15:00)／TEL 080-2650-0327

西部支所／TEL・FAX 053-454-4335 天竜相談所(毎週火・金曜日9:00～16:00)／TEL 080-2650-0237

悩みは誰かに話しましょう。

話した内容が他の人や職場に
伝わることはありません。お気軽

【専用ダイヤル】

054-202-1780

ご存知ですか？福利厚生事業

慶弔見舞金規程に応じて、本会会員に慶弔見舞金を贈ることとしています。

受章等祝金、罹災見舞金、傷害見舞金、死亡弔慰金があります。

災害、弔事に該当する場合は、すみやかに総務部へお知らせください。

総務部 TEL.054-202-1750

看護師
職能委員会

准看護師研修会

受講料無料

- 開催 日 平成28年6月18日(土) 13:30~16:30
- 場 所 静岡県看護協会第一研修室
- 内 容 ●テーマ 知るっておもしろい パートII:気管吸引
 ●講義・グループディスカッション
 「日常の看護行為を振り返ってみよう」
 ●個別進学相談(希望者)
- 対 象 静岡県内で働く准看護師(会員外可)
- 申込期限 平成28年6月10日(金)
- 申込方法 ホームページから申込

医療安全情報
平成28年度 第1弾

医療安全推進のための取り組み～適切な労働環境と労務管理～

働き続けられる
職場づくり推進委員会

医療安全を推進するためには、労働科学の知見を踏まえた労働環境づくりと労務管理を位置づける必要があります。特に、夜勤・交代制勤務や長時間労働による睡眠リズムの乱れや疲労の蓄積は、注意力・判断力・作業能力の低下をもたらすことから、看護職の安全と健康に配慮した労働環境や労働条件の整備は医療安全上必要な対策のひとつです。

看護職の労働環境・労務管理に関するガイドライン

- 「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」(2013年 公益社団法人日本看護協会)
- 「保健医療福祉施設における暴力対策指針 一看護者のためにー」(2006年 公益社団法人日本看護協会)
- 「看護職の社会経済福祉に関する指針 看護の職場における労働安全衛生ガイドライン」(2004年 公益社団法人日本看護協会)

日本看護協会「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」は看護職能団体が、夜勤・交代制勤務の改善に対して、初めて方向性を示した指針です。労働関係法令や診療報酬算定要件のような拘束力はありませんが、現場で夜勤・交代制勤務を行う看護職の労働環境を改善していく自主的な取り組みの参考として、是非活用ください。



「医療安全推進のための標準テキスト」は日本看護協会のHPからもダウンロードできます。

公益社団法人 日本看護協会看護開発部看護事業課 [日本看護協会](http://www.nurse.or.jp) 検索 <http://www.nurse.or.jp>



クイズに答えると、抽選で5名様にクオカードが当たる!

次の4文字熟語の□に入る語
を並びかえてひとつの熟語を作ってください。

温		知	
---	--	---	--

	常		飯
--	---	--	---

答え. □ □

応募方法

葉書又はメールに答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。
正解者の中から、抽選で5名の方にクオカード(1,000円分)を差し上げます。
当選者は「Vol.2」に掲載させていただきます。(ペンネーム可)

- 右記内容をご記入のうえ、応募してください。
 ●答え ●氏名 ●所属 ●電話番号 ●〒 ●住所
 ●看護しづおかの感想 ●看護協会へのご意見



お寄せいただいたご意見・ご感想は、看護しづおかに掲載させていただくことがあります。

締め切り 6月20日(月) 消印有効

葉書の場合の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会 総務部 看護しづおかクイズ係

メールの場合の宛先

メールアドレス
kango@shizuoka-na.jp

当選者 「Vol.6」のクイズの答え: 春風

高橋利江子様・ペンネーム はんちゃん様・ペンネーム まる様
ペンネーム ひとちゃん様・ペンネーム パパさん様

